

平成23年9月

田原文 学位論文審査要旨

主査 黒 沢 洋 一
副主査 福 本 宗 嗣
同 岸 本 拓 治

主論文

Influence of beta 3-adrenergic receptor Trp64Arg polymorphism on the improvement of metabolic syndrome by exercise-based intervention in Japanese middle-aged males
(β 3アドレナリン受容体Trp64Arg遺伝子多型が運動を中心とした介入による日本人男性のメタボリックシンドローム改善に及ぼす影響)

(著者：田原文、尾崎米厚、岸本拓治)

平成23年 Obesity Research & Clinical Practice 5巻 e109頁～e117頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は日本人男性労働者でメタボリックシンドローム診断基準に該当する者に対して運動を中心とした介入を行い、介入効果への $\beta 3$ アドレナリン受容体(ADRB3) Trp64Arg遺伝子多型の影響を検討したものである。その結果、年齢、歩数を各々調整したところ、変異アレルを持たないTrp/Trp型と比較して、変異アレルを持つTrp/Arg型でメタボリックシンドローム改善率が有意に高かった。本論文の内容は、公衆衛生の分野で、循環器疾患・糖尿病予防を目的とした運動介入プログラム開発において遺伝子多型を考慮することの有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。